

- ◆ 中国財務局では、平成26年12月に、当局を結節点(ハブ)とし、国の施策や地域で直面する様々な課題について深度ある意見交換を行う「地域連携プラットフォーム」を設置。
- ◆ まち・ひと・しごと創生総合戦略(2015改訂版)では、地域における金融機能の高度化のため、民間金融機関と政府系金融機関との連携強化に向けた政府の支援体制の整備が盛り込まれた。これを踏まえ、28年11月、同プラットフォームにおいて、**財務省大臣官房政策金融課長を招聘し、「地方創生における政策金融の役割について」をテーマに講演会及び意見交換会を開催。**
- ◆ 今後も、同プラットフォームを活用して、地域連携の促進を図り、地域の直面する課題の解決を目指す。

## 1. 成果事例の概要等

### 【開催概要】

開催日：平成28年11月28日

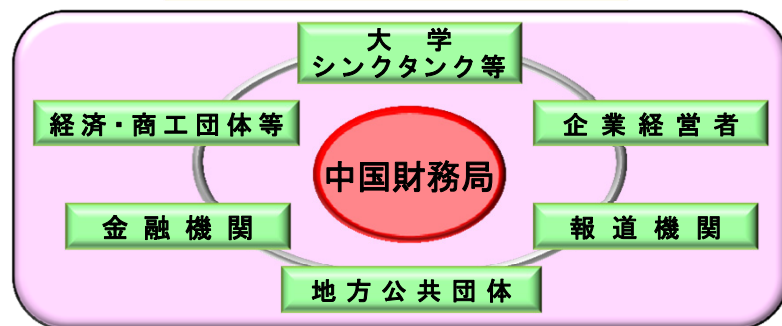
テーマ：「地方創生に政策金融が果たすべき役割」

講師：大臣官房政策金融課長 後藤 健二氏

来場者：107名

- 各地域の地方創生に向けた取組において、民間金融機関などの地域の関係者と政府系金融機関の連携を促進するために開催。
- 「地域連携プラットフォーム」には、大学、シンクタンク、経済団体、民間企業、金融機関、報道機関、地方公共団体等から、地域のオピニオンリーダーであり、実務担当者でもある方々が参加。
- 第一部として、プラットフォームメンバーに加え、一般参加の金融機関、企業経営者、経済・商工団体等向けに講演会を実施。
- 第二部として、プラットフォームメンバーに加え、テーマに関連の深い有識者をオブザーバーとして、意見交換会を実施。

### 地域連携プラットフォーム



## 2. これまでの取組の成果等

- 講演会では、参加者から、「地方創生のために政府系金融機関ができることの理解が進み、資金調達面で参考となった。」といった声が聞かれ、政府系金融機関の取組や地方創生への関わり方などについて、理解を深める良い機会となった。
- 意見交換会では、下記のような意見が聞かれ、地域の課題や取組について情報共有が図られ、今後の連携を深める良い機会となった。
  - ・ 官公庁と民間で創業支援がたくさん行われているが、どこに相談してよいかわからない状況のため、創業支援について勉強できる場があるとよい。
  - ・ 中山間地域では、農業振興や観光の取組を一体化した地域組織を設立する動きがあり、そこでは、政府系金融機関や地域金融機関等との連携が必要。
  - ・ 地方創生を進める上で、行政職員と民間金融機関等がフランクに話し合える関係が必要。
  - ・ 政府系金融機関の創業支援の取り組みを聞き、もっと連携していかなければいけないと感じた。



## 3. 今後の課題と中国財務局の対応

### ＜今後の課題＞

- 地域で直面する様々な課題の解決に向け、引き続き更なるネットワークの拡大・強化が必要。

### ＜今後の中国財務局の対応＞

- 今後も、地方創生など、国民の関心が高いタイムリーな情報の発信や、地域連携の促進を図る場づくりに努め、当局が地域における結節点となることで、地域の直面する様々な課題の解決を目指す。
- 職員が積極的に各地域へ赴くなどして、各地域の地方創生に向けた取組の状況を継続してフォローアップし、把握した地域課題の解決に資するプラットフォームの開催に取組む。
- 意見交換会での発言を受け、行政職員と民間金融機関等との意見交換会の開催等に取組む。